

## 酪農家の経営安定を目指した畜産セミナーを開催

12月4日、当センターでは高品質な生乳生産と生産コストの低減を図るため、京都府畜産振興協会との共催で畜産セミナーを開催しました。

府内の酪農家を中心に約50名が参加し、当センターの職員が、「バルク乳※<sup>1</sup>のデータから見た府内の乳質」について話題提供した後、家畜改良事業団情報分析センターの相原光夫次長から、新しい牛群検定成績表※<sup>2</sup>の見方について講演いただきました。

講演後、実際に牛を見ながら肢蹄状況スコア※<sup>3</sup>の判定実習を行い、参加者からは「牛群検定成績表の見方を再確認でき、牛の健康状態を的確に把握する知識が深まった。是非、今後の経営に生かしたい。」と意欲的な声がありました。

※1 バルク乳：出荷までの間、バルククーラー（冷蔵タンク）で保管されている生乳

※2 牛群検定成績表：農家ごとに全頭の乳量や乳質等を月ごとにまとめた成績

※3 肢蹄状況スコア：脚やひづめの健康状態を5段階で評価したもの



「いま一度基本を見直すことが大切です」  
と相原次長の講演



現場で肢蹄の評価判定方法を実習